

福祉生活病院常任委員会資料

(令和元年12月18日)

【件名】

- 1 ロービジョンフォーラム in 鳥取の開催について
(障がい福祉課) . . . 1
- 2 とっとり方式認知症予防プログラム普及フォーラムの開催について
(長寿社会課) . . . 3

福祉保健部



ロービジョンフォーラム in 鳥取の開催について

令和元年12月18日
障がい福祉課

社会における理解や認識があまり進んでいないロービジョンに対する県民の理解を深めるとともに、視機能の低下により、読み書き、仕事、学業、家事など生活の様々な場面で不安や困難を抱えるロービジョン者が保有する視機能を活かし安心した日常生活・社会生活を送ることができるよう、ロービジョンケアに繋げていくためのフォーラムを開催します。

1 日時 令和元年12月21日(土) 13:30～15:30

2 会場 ANAクラウンプラザホテル米子 2階 飛鳥(米子市久米町53-2)

3 主催 鳥取県

4 フォーラムの内容

(1) 講演

- 演題：ロービジョンの今を考える～困難、課題、事例から見える現在地～
講師 島袋 勝弥(しまぶくろ かつや)氏
(独立行政法人国立高等専門学校機構
宇部工業高等専門学校 准教授)

(2) パネルディスカッション

- テーマ：ロービジョン者が安心して生活するために！

○コーディネーター

高木 茂(たかぎ しげる)氏(鳥取県眼科医会 理事)

○パネリスト

島袋 勝弥(しまぶくろ かつや)氏(宇部工業高等専門学校 准教授)
福留 史朗(ふくどめ しろう)氏(一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 会長)
大松 寛(おおまつ ゆたか)氏(鳥取大学医学部附属病院 医員)
赤星 亨(あかほし とおる)氏(社会福祉法人鳥取県ライトハウス情報支援員)
山本 伸一(やまもと しんいち)氏(鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課 課長)

(3) 「見えにくい方のため」の展示会・体験会

拡大読書器、遮光眼鏡など、視機能を補う様々な視覚補助機器の展示を行います。

5 その他

別添 「ロービジョンフォーラム in 鳥取」チラシ

まず知ることから始めよう!

ロービジョンフォーラム in 鳥取 2019

参加費
無料

社会における理解や認識があまり進んでいないロービジョンに対する
県民の理解を深めるとともに、視機能の低下により、読み書き、仕事、学業、家事など生活の様々な
場面で不安や困難を抱えるロービジョン者が保有する視機能を活かし安心した日常生活・社会生活
を送ることができるよう、ロービジョンケアに繋げていくためのフォーラムを開催します。

日時 **12月21日(土)** 13:30~15:30

会場 **ANAクラウンプラザホテル米子 2階 飛鳥**

〒683-0824 鳥取県米子市久米町53-2 Tel:0859-36-1111

当日参加もできます
定員**100名**

Fax:0859-36-1115

講演 **ロービジョンの今を考える** — 困難、課題、事例から見える現在地 —

講師：**島袋 勝弥氏** (宇部工業高等専門学校 准教授)



1977年沖縄県生まれ。2004年に東京工業大学
大学院博士課程修了。学位は博士(理学)。
2005年に渡米、フロリダ州立大学にて博士研究
員として勤務。

2012年4月に宇部工業高等専門学校に異動し、現
在に至る。

専門は生命科学、とくに新しい顕微鏡法の開発を
得意にしている。

2019年アイシーワーキングアワーズ MIP賞、同年、
NHK障害福祉賞入選

22歳で網膜色素変性症と診断され、現在、右目は
手動弁、左目は視力0.7視野2度。

パネルディスカッション

ロービジョン者が安心して生活するために!

コーディネーター 鳥取県眼科医会 **高木 茂氏**

- パネリスト
- **島袋 勝弥氏** (宇部工業高等専門学校 准教授)
 - **福留 史朗氏** (一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 会長)
 - **大松 寛氏** (鳥取大学医学部附属病院 医員)
 - **赤星 亨氏** (社会福祉法人鳥取県ライトハウス 情報支援員)
 - **山本 伸一氏** (鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課 課長)

主催：鳥取県 お問い合わせ先：障がい福祉課

電話：0857-26-7201 ファクシミリ：0857-26-8136

メールアドレス：shougai Fukushi@pref.tottori.lg.jp

「見えにくい
方のため」の
展示会・体験会
同時開催

JR米子駅からのアクセス

電車やバスでお越しの方
JR山陰本線米子駅より徒歩8分



▲目の不自由な方
のための音声コード

とっとり方式認知症予防プログラム普及フォーラムの開催について

令和元年12月18日

長寿社会課

平成28年度から、日本財団との共同プロジェクトとして、鳥取大学・伯耆町・鳥取県が連携し、本県独自の認知症予防プログラムを開発しました。

このプログラムを全県に普及することにより認知症予防の取組を推進するため、広く県民の方を対象として、認知症の正しい理解と予防、プログラムの実証結果及びプログラムの内容に関する講演、プログラムの体験等を行うフォーラムを開催しました。

- 1 日 時 令和元年12月8日（日）午後1時30分～4時
- 2 場 所 まなびタウンとうはく4階 多目的ホール（東伯郡琴浦町徳万266-5）
- 3 来場者数 約230名
- 4 実施主体 鳥取県
- 5 対象者 県民、市町村・地域包括支援センター・介護事業所等の職員、地域の介護予防教室・サロン等の代表・メンバー等
- 6 内 容

- (1) 講演「これから期待される認知症予防～とっとり方式認知症予防プログラムの開発研究と成果～」
講師：鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授 浦上 克哉 先生
概要：認知症予防の概念や重要性、最近のトピックス等、プログラムの概要と成果等についてわかりやすく講演。軽度認知障がい（MCI）の状態を早期に発見し、早期に予防に取り組むことの大切さ、プログラムの開発経緯や実証結果等について教えていただいた。
- (2) 説明「とっとり方式認知症予防プログラムの内容、教室の運営・成果」
説明者：伯耆町 健康対策課 生活相談室 室長 中原 孝訓 氏
概要：プログラムの詳細な流れや、実際に教室を運営するに当たっての留意点、教室の成果、参加者の声、伯耆町におけるその後の展開等について説明していただいた。
- (3) 体験「とっとり方式認知症予防プログラムの体験」
指導者：鳥取県作業療法士会 仲田 奈生 氏（鳥根リハビリテーション学院）
安井 愛美 氏（大山リハビリテーション病院）
永栄 夏育 氏（米子病院）
概要：作業療法士の解説を受けながら、実際にDVD等を視聴しつつ、運動プログラム、知的活動プログラムの一部を体験。運動プログラムにおいて有酸素運動や筋力運動等を行うに当たってのポイントや、知的活動プログラムで行う認知課題等について、指導していただいた。

7 参加者の声

- 県政だより12月号でこのフォーラムについて知り、ぜひ自分の地区のサロン全員で参加したいと思った。近くのサロンにも声をかけ、岩美町社会福祉協議会からバスを出してもらって約20名で参加した。とても良さそうなプログラムなので、サロンでぜひやってみたい。
- 浦上先生の講演で、認知症予防の大切さがよくわかった。持ち帰って地区の方々にもぜひ伝えたいので、資料を追加で送ってほしい。
- 介護事業所でレクリエーションを担当している。ぜひこのプログラムを取り入れてみたい。

【会場の様子】



【浦上教授講演】



【作業療法士の指導を受けながら運動プログラムを体験】



